

令和4年度

青森県地域年金展開事業 取り組み報告



日本年金機構

Japan Pension Service

青森年金事務所

(青森県代表年金事務所)

目 次

- 1 地域連携事業
- 2 年金セミナー事業
- 3 地域相談事業
- 4 年金委員活動支援事業
- 5 「ねんきん月間」「年金の日」の取り組み
- 6 「わたしと年金」エッセイの取り組み
- 7 第2回青森県年金ポスターコンクールの取り組み
- 8 青森県地域年金事業運営調整会議の開催

1 地域連携事業

(1) 事業の取り組み報告

① 市町村との連携

- 各年金事務所において国民年金事務担当者研修会を開催し、国民年金保険料納付状況等の説明、国民年金の適用・保険料関係事務及び年金給付関係事務について疑問点の整理や意見交換を行い、国民年金収納対策、お客様サービスの向上につながるよう連携強化を図りました。

○ 研修会の開催状況

事務所名	令和3年度		令和4年度		増 減	
	回数	出席人数	回数	出席人数	回数	出席人数
青 森	4回	28名	4回	18名	増減なし	10名減
八 戸	2回	21名	2回	10名	増減なし	11名減
弘 前	2回	46名	4回	32名	2回増	14名減
む つ	3回	40名	2回	10名	1回減	30名減
合 計	11回	135名	12回	70名	1回増	65名減

- 理事者(首長)等へ国民年金事業及び地域年金展開事業に関して情報提供のうえ、意見交換を実施しました。
- 各種ポスターの掲示、リーフレットの配布及び設置していただきました。
 - 予約による年金相談
 - 「わたしと年金」エッセイ
 - ねんきん月間、年金の日
 - ねんきんネット
 - 年金制度周知リーフレット(成人式)
- 市町村広報誌、防災無線及びケーブルテレビにおいて公的年金制度の周知を行っていただいたほか、出張年金相談開催の周知を行っていただきました。
- 国民年金事務担当者向け情報誌「かけはし」を発行し、制度や事務手続き、各種お知らせを周知しました。(年6回:奇数月)

② 関係団体との連携

- 一般財団法人青森県社会保険協会発行の会報誌「社会保険あおもり」に公的年金制度及び予約制による年金相談の周知の記事を掲載していただきました。(偶数月発行、毎号記事掲載)
- 青森県社会保険労務士会主催の研修会及び一般財団法人青森県社会保険協会主催の研修会へ講師を派遣しました。

○ 関係団体における制度説明会の開催状況

団 体 名	回数	参加者数	開催事務所	内 容
一般財団法人青森県社会保険協会	4回	72名	全事務所	初任者社会保険事務研修
青森県社会保険労務士会十和田支部	1回	15名	八 戸	年金制度について
青森県社会保険労務士会	1回	5名	青 森	新規入会者等開業準備研修
青森県社会保険労務士会弘前支部	1回	21名	弘 前	年金制度について
合 計	7回	113名		

③ ハローワークにおける国民年金説明会の開催状況

- これまで、各ハローワークで実施されていた集合形式の離職者説明会については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、県内全てのハローワークにおいて中断されました。現在は年金事務所職員が直接説明をする時間をいただくことができないため、ハローワーク職員に離職後の国民年金手続きに関するリーフレットや申請書等について、配布の協力をいただいております。
- アシストハローワーク(ハローワークの臨時窓口)においては、離職後の国民年金手続きについて説明をする時間をいただき周知を図ることができました。また、説明会終了後に相談会を開催しました。

○ アシストハローワークの実施状況

事務所名	アシストハローワーク	回数	参加者数	相談者数
青森	ハローワーク青森	2回	30名	2名
八戸	ハローワーク八戸	3回	39名	15名
弘前	ハローワーク弘前	1回	24名	4名
合 計		6回	93名	21名

④ その他特徴的な取り組み

【八戸】

- ・ 駐留軍労働者労務管理機構三沢支部主催「退職準備研修会」において、退職後の年金制度等について説明を行いました。（参加者48名）

【弘前】

- ・ FM放送へ年金事務所職員が出演し、年金制度の説明を行いました。

(2) 総括・分析と今後の対策

総括・分析	今後の対策
・ 市町村との意見交換の機会として、理事者への協力依頼を実施し、協力連携体制の強化を図りました。また、担当者研修会では、意見交換を行い日頃の疑問点を整理することができました。 ・ 市町村国民年金担当者研修を非対面で開催し、受講機会の拡大を図りました。 ・ 関係機関、関係団体主催の研修会へ講師を派遣し、年金制度等の周知を行いました。	・ 市町村のニーズに沿った研修等を実施してまいります。 ・ 関係機関、関係団体主催の研修会は、公的年金制度を周知する絶好の機会であるため、依頼があった際は、講師を派遣いたします。

2 年金セミナー事業

(1) 事業の取り組み報告

① 高等学校、特別支援学校

青森県教育庁や青森県総務部総務学事課から、県内の高等学校に対して年金セミナー開催を周知していただきました。その後、各年金事務所から管内の高等学校へ文書、訪問及び電話による年金セミナー開催のアプローチを行いました。また、障害年金の周知取り組みとして、特別支援学校へも同様のアプローチを行いました。

② 大学、専修学校等

各年金事務所から管内の大学、専修学校等へ文書、訪問及び電話による年金セミナー開催のアプローチを行いました。

○ 年金セミナー開催状況(事務所別)

※()は回数

事務所名	令和3年度	令和4年度	増 減
青 森	21校(22回)	22校(22回)	1校増(増減なし)
八 戸	22校(22回)	26校(26回)	4校増(4回増)
弘 前	17校(18回)	19校(19回)	2校増(1回増)
む つ	7校(7回)	7校(7回)	増減なし(増減なし)
合 計	67校(69回)	74校(74回)	7校増(5回増)

○ 教育機関別内訳

※()は受講者数

教育機関	令和3年度	令和4年度	増 減
大学、短大	3校 (443名)	3校 (328名)	増減なし (115名減)
専修学校	7校 (313名)	10校 (441名)	3校増 (128名増)
高等学校	53校 (5, 406名)	59校 (6, 504名)	6校増 (1, 098名増)
特別支援学校	4校 (124名)	2校 (50名)	2校減 (74名減)
合 計	67校 (6, 286名)	74校 (7, 323名)	7校増 (1, 037名増)

③ アンケート結果

年金セミナー受講前と受講後では、年金に対するイメージが大幅に改善されています。

○ 「とても良い・まあ良い」と回答した者の割合

教育機関	年金セミナー受講前	年金セミナー受講後
大学、短大	39. 0%(128名)	90. 5%(297名)
専修学校	51. 1%(218名)	86. 2%(368名)
高等学校	40. 0%(2, 336名)	89. 7%(5, 232名)
合 計	40. 7%(2, 682名)	89. 5%(5, 897名)

※ 詳細は、【資料5】令和4年度青森県内年金セミナーアンケート集計結果を参照。

④ 地域年金推進員の活用

教職員OB2名を「地域年金推進員」として委嘱し、県内を青森・弘前年金事務所管内と八戸・むつ年金事務所管内の2地区に分け、高等学校を中心に年金セミナーの開催について協力依頼を実施しました。

(2) 総括・分析と今後の対策

総括・分析	今後の対策
・大学、専修学校等の年金セミナー開催が少ないことが課題です。 ・県内のほとんどの高等学校が3学年を対象としています。そのため、開催時期が年度末の1月から2月に集中しています。 ・令和4年度下期は新型コロナウイルス感染拡大前と同様の対面開催を希望する教育機関が増加しました。開催の申し込み数もコロナ前の状況に戻っていると判断しています。	・若い世代が、年金制度の正しい知識や手続きに触れ、公的年金制度が身近で重要なものであると理解することは、地域年金展開事業の核となる重要な取り組みです。そのため、新規に開催いただける教育機関が増加するよう各種教育機関へのアプローチを行います。 ・高等学校については、3年生以外の学年で開催していただけるようアプローチを行います(例:家庭科の授業、総合的な探求の授業、ロングホームルーム)。

3 地域相談事業

(1) 事業の取り組み報告

① 出張年金相談

- 年金事務所から遠隔のお客様の利便性向上や市町村の要望により、県内3事務所の6市町において53回の出張年金相談を開催しました。
- 開催にあたっては、日本年金機構の広報だけでなく、市町村の広報誌及び一般財団法人青森県社会保険協会発行の会報誌へ開催日時及び予約制であることを掲載していただき、効率的に年金相談を開催することができました。
- 各出張年金相談には、街角の年金相談センター青森(オフィス)から相談担当1名を配置していただき、共同で開催しました。

○ 出張年金相談の実施状況

事務所名	実施場所（実施日程）	相談者数	
		令和3年度	令和4年度
青 森	野辺地町(偶数月)	51名	58名
	七戸町(奇数月)	22名	32名
八 戸	十和田市役所(毎月1回)	120名	130名
	三沢市(偶数月)	57名	56名
弘 前	五所川原市役所(毎月1回)	113名	123名
	つがる市役所(毎月1回)	114名	112名
合 計	開催53回	477名	511名

② ねんきんネットの利用促進

- ・ねんきんネットを年金事務所、コールセンターと並ぶ第3の窓口として確立させるため、ねんきんネットの利用者拡大を図ってまいりました。具体的な取り組みは以下のとおりです。

○市町村窓口に周知用リーフレットを設置していただきました。

○事業所へ利用勧奨文書を送付し、アクセスキー発行申出書を提出していただきました。また、提出いただいた申出書を基に、被保険者へアクセスキー発行通知書及びねんきんネット利用のリーフレット等を送付しました。

○出張年金相談、年金セミナー、制度説明会の際に周知用リーフレットを配布しました。

○大規模小売店に周知用ポスター掲示及びリーフレットを設置していただきました。

○年金事務所で発行したアクセスキーに対するユーザーID 取得状況

事務所名	目 標	実 績	達成率
青 森	396	801	202. 3%
八 戸	498	684	137. 4%
弘 前	452	1, 141	252. 3%
む つ	100	111	111. 0%
合 計	1, 446	2, 737	189. 3%



(2) 総括・分析と今後の対策

総括・分析

- ・出張年金相談の開催にあたり、地域住民の利便性の向上と、新型コロナウイルス感染症防止対策を考慮し、市町村と連携して行いました。また、街角の年金相談センター青森(オフィス)と連携し共同で開催しました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ハローワークの離職者説明会で直接説明はできていませんが、アシストハローワークにおいて、離職後の国民年金手続きについて周知を図ることができました。
- ・お客様と接触できる様々な機会を利用し、ねんきんネットの利用者拡大を図りました。

今後の対策

- ・出張年金相談は、市町村からの要望等も踏まえ、お客様の利便性向上のため街角の年金相談センター青森(オフィス)と連携し引き続き開催してまいります。
- ・離職後の国民年金手続き周知等を図るうえでは、ハローワークでの説明会は貴重な機会であり、引き続き協力連携を図ってまいります。
- ・アシストハローワークなど多方面での年金制度説明会実施に向け、関係機関との連携を引き続き図ってまいります。
- ・ねんきんネットを年金事務所、コールセンターと並ぶ第3の窓口として確立させていくため、引き続き被保険者及び年金受給者へのねんきんネット利用促進を積極的に進めてまいります。

4 年金委員活動支援事業

(1) 事業の取り組み報告

① 年金委員の研修会、連絡会の開催

- ・ 職域型年金委員に対する研修会を、全国健康保険協会青森支部と青森、県南、弘前、下北の各社会保険委員会と共同で開催しました。
- ・ 令和4年11月2日開催の「全国年金委員研修」に96名参加していただきました。
- ・ 地域型年金委員の活動活性化のため、県単位、地区単位に組織を再構築し、四半期に一回青森県地域型年金委員連絡会及び地区連絡会を開催し、情報共有、活動支援を行いました。

○全国年金委員研修の参加者数

事務所名	オンライン	参集	合 計
	職域型	地域型	
青 森	30名	9名	39名
八 戸	20名	6名	26名
弘 前	0名	1名	1名
む つ	29名	1名	30名
合 計	79名	17名	96名

○地域型年金委員地区連絡会参加者数

事務所名	6月	9月	12月	3月	合計
青 森	13名	11名	11名	10名	45名
八 戸	9名	10名	9名	8名	36名
弘 前	9名	11名	7名	11名	38名
む つ	1名	11名	3名	4名	19名
合 計	32名	43名	30名	33名	138名

② 年金委員活動への支援及び情報提供等

- ・ 広報誌、リーフレット及びホームページを活用した情報提供を行いました。

③ 年金委員功労者表彰の開催

「ねんきん月間」において、多年にわたり政府管掌年金事業の推進・発展に貢献された年金委員の方々に対し、年金委員功労者表彰伝達式を県内の年金事務所、全国健康保険協会青森支部、一般財団法人青森県社会保険協会及び青森県社会保険委員会連合会と共同で開催しました。

- 開催日 令和4年11月17日(木)
- 開催場所 ホテル青森
- 受賞者数 厚生労働大臣表彰 1名
日本年金機構理事長表彰 4名
日本年金機構理事表彰 11名
- ※共催団体においても、それぞれ表彰を行いました。
- 表彰伝達式出席者 49名



※本ページの写真は、掲載について、ご本人様の了承をいただいています。

④ 年金委員の委嘱拡大に向けた取り組み

- ・各年金事務所で年金委員の未設置事業所に対して、文書及び電話による勧奨を実施し、89名の推薦をいただくことができました。
- ・八戸年金事務所で年金委員設置済みの事業所に対して、複数名の年金委員を推薦していただけるよう文書による勧奨を実施し、24名の推薦をいただくことができました。
- ・一般財団法人青森県社会保険協会発行の会報誌「社会保険あおもり10月号」に年金委員募集の記事を掲載していただきました。

○年金委員委嘱数の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職域型	1,429名	1,426名	1,445名	1,618名	1,723名
地域型	67名	69名	75名	94名	106名
合 計	1,496名	1,495名	1,520名	1,712名	1,829名

(2) 総括・分析と今後の対策

総括・分析	今後の対策
・職域型年金委員は文書勧奨等の実施により増加しています。 ・地域型年金委員は高齢者が多く、3年の任期満了時に更新いただけないことがあります。	・引き続き職域型年金委員未設置事業所への勧奨に取り組んでまいります。 ・地域と密接な関わりのある市町村及び教育機関へ地域型年金委員の推薦依頼を行ってまいります。

5 「ねんきん月間」「年金の日」の取り組み

日本年金機構は、厚生労働省と協力して国民の皆さまに公的年金を身近に感じていただき、年金制度に対する理解を深めていただくよう、11月を「ねんきん月間」と位置付け、公的年金制度の普及・啓発活動を展開しています。

また、国民お一人お一人にねんきんネットを利用して年金記録や年金受給見込額を確認していただき、高齢期に備え、その生活設計に思いを巡らしていただくことを目的として、厚生労働省において、平成26年度より11月30日(いいみらい)を「年金の日」に制定し、公的年金制度に対する理解を深めていただく取り組みを実施しています。



(1) 事業の取り組み報告

①「ねんきん月間」「年金の日」の周知

- 日本年金機構ホームページにおいて、各年金事務所の取り組みを周知しました。
- 市町村に年金の日のポスターの掲示、ねんきん月間及びねんきんネットのリーフレットを設置していただきました。
- 県政記者クラブへ年金月間に係る情報提供を行いました。

②各年金事務所の取り組み

- 各年金事務所において、年金セミナー、制度説明会、出張年金相談を開催しました。

- ・ 八戸年金事務所では、城下保育園、こばとこども園の園児に「大切な人(おじいちゃん、おばあちゃん)」をテーマに似顔絵を描いていただき、73作品を年金事務所内に展示しました。

○城下保育園園児の作品



○こばとこども園園児の作品



(2) 総括・分析と今後の対策

総括・分析

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、商業施設でのリーフレット配布等が困難となりました。
- ・ 八戸年金事務所における園児の似顔絵展示は長期間継続した取り組みとなっています。

今後の対策

- ・ 新型コロナウイルスが第5類に分類されたことにより、外部での事業実施が可能となったことから、積極的に「ねんきん月間」及び「年金の日」を周知していく必要があります。

6 「わたしと年金」エッセイの取り組み

(1) 事業の取り組み報告

① 関係機関、団体等との協力連携

- 青森県教育庁及び青森県総務部総務学事課との協力連携
県内の高等学校へエッセイ募集を周知していただきました。
- 市町村教育委員会との協力連携
県内の中学校へエッセイ募集を周知していただきました。
- 市町村との協力連携
庁舎内にエッセイ募集のポスターを掲示していただきました。
- 青森県商工会議所連合会、青森県商工会連合会との協力連携
県内の商工会議所及び商工会へエッセイ募集を周知していただきました。その後、商工会議所及び商工会にはエッセイ募集のポスターの掲示及びリーフレットを設置していただきました。

② 各年金事務所の取り組み

- 高等学校、中学校
各年金事務所から管内の高等学校及び中学校へエッセイの応募依頼の文書を送付しました。

③ 応募結果

- ・県内では一般1名、中学生1名の応募がありました。

○「わたしと年金」エッセイ全国応募件数

年度	一般	学生			合計
		中学生	高校生(専門学校等)	大学生	
令和3年度	70名	39名	1,433名(0名)	54名	1, 596名
令和4年度	89名	198名	1,672名(0名)	49名	2,008名

(2) 総括・分析と今後の対策

総括・分析	今後の対策
・令和4年度は青森県内の高校生からの応募がなかったため、応募拡大に向けた取り組みが必要です。	・関係団体への協力依頼と、県内教育機関への働きかけを引き続き行ってまいります。

7 第2回青森県年金ポスターコンクールの取り組み

県内の中学生を対象に公的年金を身近に感じていただき、公的年金制度への参加意識を醸成することを目的に、年金をテーマとしたポスターを募集しました。

【後援機関】 厚生労働省東北厚生局、青森県教育委員会、株式会社東奥日報社、
青森県社会保険労務士会、一般財団法人青森県社会保険協会

【賞】 最優秀賞1点、優秀賞3点、入選8点、
特別賞(厚生労働省東北厚生局長賞)1点

(1) 事業の取り組み報告

① 関係機関、団体等との協力連携

- 青森県教育庁及び青森県総務部との協力連携
市町村教育委員会及び県内の私立中学校へポスター募集を周知していただきました。
- 市町村教育委員会との協力連携
県内の公立中学校へポスター募集を周知していただきました。

② 各年金事務所の取り組み

- 各年金事務所から管内の中学校へ文書及び電話による応募依頼を行いました。

③ 募集結果

- 7校から17作品を応募していただきました。

④ 入賞作品の表彰

- 各年金事務所において対象の中学校を訪問し表彰を行いました。

⑤ 入賞作品の展示

- ・青森県内各地の商業施設等にポスターを展示していただきました。

イトーヨーカ堂青森店



八戸ショッピングセンターラピア



弘前市総合学習センター



最優秀賞

(五所川原第四中学校 奥田眞優さん)



優秀賞

(白銀南中学校 嶋守真優さん)



優秀賞

(八戸長者中学校 古川玲奈さん)



優秀賞

(青森明の星中学校 馬渡咲樹さん)



(2) 総括・分析と今後の対策

総括・分析

- ・応募いただいた学校数・作品数が第1回の前年度より減少(4校、88作品の減少)しました。

今後の対策

- ・前年度の実績を上回る応募をいただけるよう、電話による依頼を行います。

8 青森県地域年金事業運営調整会議の開催

地域住民の公的年金制度に対する理解をより深め、制度への加入や国民年金保険料納付の向上に繋がるよう地域における支援のネットワークを構築し、地域に根ざした年金事業の積極的な推進を図ることを目的として、地域年金事業運営調整会議を開催しました。

<第20回会議>

【開催日】

- ・令和4年7月（書面開催）

【議事内容】

- ・令和3年度青森県地域年金展開事業 取り組み報告
- ・令和4年度青森県地域年金展開事業 事業計画

<第21回会議>

【開催日】

- ・令和5年1月（書面開催）

【議事内容】

- ・令和4年度青森県地域年金展開事業 取り組み状況
- ・令和5年度青森県地域年金展開事業 事業計画(案)